

## わがチラ裏ブログより転載

<http://www.ma-2.com/blog1/>

ふちんかん

### 格安 SIM からサブブランドへ 2019.9

我が家の携帯電話は3年半前から格安 SIM の[IIJ]であった。今回はそれを[UQモバイル]と[Y!モバイル]というメジャーキャリア会社のサブブランドに変えてみた。

この3年の間に総務省が通信キャリア（auとか Softbank とか）に色々茶々入れをした結果、長期間の契約縛りやそれに伴うキャッシュバックや端末料金の極端な割引ができなくなった。そしてその余波はサブブランド（UQやY!）にまで及ぶようになった。2社は10月から2年縛りとバーターの安い料金プランは提供できなくなることになった。そこで9月は各社、最後の2年縛り契約を狙ってキャンペーンも多かった。

これまで格安 SIM を使っていた身としては蚊帳の外だったわけだが、ウチの家族4人分の、この先2年間の総支払額をキャッシュバックなどを入れて計算すると、今の格安 SIM とほぼ同額になることがわかった。さらにサブブランドは格安 SIM に比べると、昼休みや夜間の混雑時の通信が安定していて、さらに通話無料がついてくる。混雑時の通信に関しては、昼は使用しないし夜は家庭の Wi-fi を利用しているので、あまり関係ないが、通話無料は大きい。滅多に電話をしないとはいえ、通話料を気にしなくて良いのは心穏やかである。ということでラストチャンスである9月末に2社に分かれてMNPしてみた。

今のところ、通話だけでなく、通信速度やボーナスデータ量などのメリットを感じる部分が多くあり、この乗り換えは大正解であったと自負している。

業者	プラン	料金(税抜)
UQモバイル	ぴったりプランS×3 [データ3G]	5970円
	家族割×2	△1000円
Y!モバイル	スマホプランS×1 [データ3G]	1980円
	SIM単体契約割	△400円
これまでのヤフープレミアム会員代金 消滅		△450円
プリペイドSIM	月1G×2年で5100円など SIM3枚	1170円
計	音声4回線+通信3回線	7270円
料金は、キャッシュバック代を組み込んで計算している		

後日、車のタブレットや iPad 用に安いプリペイド SIM を契約。4G通信できるのが月1GBだったり、4ヶ月の期間で10GBだったり制限が多いが、動画などを見ない限りは3G通信で十分なので、問題なし。



## ネット回線を J-COM からソフトバンク光へ 2019.10

携帯電話回線に続いて、今月は住居のネット回線を変更した。

3年前に、NTT 光から鞍替えしたケーブル電話回線から再び光回線に戻した。思えば現在のマンションに越してきて約18年、ネット回線は J-COM → NTT 光 → J-COM → また光と、ケーブルと光回線に交互に軸足を移してきたことになる。



今回、ソフトバンク光に申し込んだのは、仲介業者からのキャッシュバックの影響が大きい。キャッシュバックを縛りのある最初2年間に割り振って作った料金は、現在 J-COM に支払っている料金より、月1000円ほど安くなる（3年目からはそれが無くなり現在より+1000円となる）。

まあ料金に関しては、2年後に別の回線に変えても良いし、4年間トータルで現在と同額と考えることもできるわけだ。

ただ、乗り換えには問題が一つあって、うちの固定電話の番号は J-COM が発番したものであり、これが MNP の対象とならず電話番号が変わってしまうというものだ。電話番号の変更というのはかなり大きな問題で、以前 NTT 回線にしたときにも、光電話にするという選択肢があったのだが、そのときは電話だけ J-COM のままにしていたという経緯がある。しかし今回は、番号を変えてでも、光回線にする「ひと押し」があった。仲介業者が提供する通常24000円のキャッシュバックがお見舞い的な意味合いで倍増されたのである。これによって2年間毎月2000円引きと同じ価値が生じ、料金的なメリットが大きくなったのである。

さらに電話サービスや IPv6 通信を実現する BB ユニットを含むセットの料金が、携帯の Y!モバイルとの契約がらみで実質0円で利用できたのも大きい。家族4人のうち、私だけ携帯会社を別にしたことが思わぬメリットを呼んだ。

とまあこのままカネの話に終始しそうなのだが、今回の乗り換えのキモは IPv6 の高速通信を享受できるということである。そこで肝心のネットのスピードはというと…

	PING ms	DOWNLOAD Mbps	UPLOAD Mbps			PING ms	DOWNLOAD Mbps	UPLOAD Mbps
J-COM	16	81.07	5.15	→	SB 光	13	242.43	311.65

これは夜のピーク時に測定したもの。まあ J-COM も困るほど遅いことはなかった。というかケーブルにしてはかなり頑張っているほうかと。それでもやはり光は速いね。Upload が断然違う。最近けっこう双方向通信があるので、これはメリット。

ということで、先月の携帯電話の乗り換えに続き、今回の乗り換えも大正解かと。

## 4年前のスマホとキャッシュレス時代

4年前発売のスマホ Galaxy S6 edge を入手し、現在メインスマホとなっている。

こいつは元々は、360°カメラの映像を見るために中古で買ったスマホなのだが、手に取った瞬間に気に入ってしまった。通常使用では問題ない能力に加え、エッジ部が表面から背面に向かって広がる（底面から見ると台形）形態が、持ってみるととても薄く感じさせるのだ。そして軽い。私の場合、ケータイは150gを切ると軽く感じるのだが、この機種は132gしかないのだ。この形態から来る携行性と軽量はかなりポイントが高い。私のスマホ用途はラインやメール・検索程度なので、能力よりは携行性や操作性が優先されるためだ。

さて、これまで使っていた Huawei の Nova3 は、抜群の能力とそれなりの携帯性を備えていて気に入っていた。しかし中華製スマホなので NFC が使えない。これまでは余りにしていなかったのだが、キャッシュレス決済で少々ネックになってきた。最近はコンビニ程度なら財布を持たずに入店したりするのだが、どうしても決済の前にスマホを起動し、アプリを開いて準備して…という手数が煩わしい。せっかくのキャッシュレス時代なのだから、あと一歩、手数が省略できる NFC 決済が一番スマートだと思うのだ。まあガラケーの時代から「おサイフケータイ」機能を搭載していた日本のメーカーというのは、先進的だったのだと改めて思う。



実はこれまでも NFC 機能がある Galaxy Note5 というスマホも持っていて、こちらで GooglePAY の使用テストをしていた。しかしこの機種は日本未発売のモデルのため周波数からみて山間部で使えないことから、メイン機種にはなり得なかった。そこに現れたのが今回の Galaxy S6 edge である。日本のキャリアから発売されていたフラッグシップ機なので当然、NFC を搭載している。そして山間部の周波数にも対応している。それに加えて、前述の携行性である。唯一の不満点は指紋認証が表面にあって、反応が悪いことくらいで、現状はこの機種がベストという結論となった。



持ちやすいエッジデザイン  
Qi充電も楽である



背面は鏡面仕立て 滑り留めをつけている

(追記 2019.12)  
あまりに気に入りにすぎて、ネットフリマで未開封新品をゲット！  
当面はコレで行く！



## エアコンのリモコンに反射板

エアコンのリモコンは、壁に固定しているフォルダーに収まっている。使用するときには、フォルダーからリモコンを外して、エアコンに向けて操作し、再びフォルダーに戻す。この操作をワンタッチで行いたい。いずれは、スマートホームとやらで音声でできるようになるのだろうか。

目的を達成するためには、リモコンの頭部から出る赤外線を、エアコンに届くように反射させてやれば良いわけだ。そこで写真のようにフォルダーの上部に反射板を付けてみた。反射板はお菓子が入っていた箱の底板である。適度に乱反射するのか角度も適当に曲げただけだが、目的は達成できた。

私は、持っている知識と工夫で生活が改善できる（誰かの役に立つ）こと、「おばあちゃんの知恵袋」的なことに、大いに喜びを感じる。



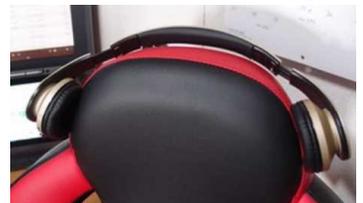
## Bluetooth ヘッドフォンマイク×チェア

密閉式の Bluetooth ヘッドフォンマイク、配線の煩わしさが無いのは良いのだが、装着するとアタリで耳が痛くなる。さらに周囲の音は聞こえなくなる…。そのため使用が限られていた。本当は常にお気に入りの楽曲や YouTube の作業用 BGM を聴いていたのだが。

また、私は知りたがり屋なので、どんな環境でも音声検索をしたいと思っている。外出先や車の中ではスマホやタブレットでできていることが、ネットと一番相性の良いはずの自宅の PC でできないというのがなんとも歯がゆい。使っている chrome は音声検索ができるので、あとはマイクだけの問題なのだ。

上記2点の不満を解消するためには、ヘッドフォンマイクを身体から離して、常時使用できる環境を実現する必要がある。そこで写真のように、ヘッドフォンマイクを最大に広げ、チェアの頭部を挟んでみた。互いの摩擦力で思ったよりしっかり固定された。

これなら常に音楽を聴くことも、思いついたときに音声検索をかけることもできるようになった。うーん！この組み合わせは我ながらナイスアイデアですわ。



（で、まあ初めのうちは気に入って使っていたんですが、紆余曲折ありまして）

けっきょく Bluetooth ヘッドフォンは、据え置きのみクスピーカーとして使うこととなり、写真のような形で落ち着いた。こうなるともう、Bluetooth ヘッドフォンである必要は無いのだが、新たな消費ではなく、今あるものを、目的に応じた形で使うという意味では、無駄がなく満足である。

